

## 5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和5年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	2,156.0		2,137.6		2,145.2	
備蓄米	255.0		272.9		270.0	
飼料用米	4.7		3.7		1.7	
米粉用米	0.0		0.0		0.0	
新市場開拓用米	0.0		0.0		0.0	
WCS用稲	0.0		0.0		0.0	
加工用米	0.0		0.0		0.0	
麦	103.6		90.9		106.0	
大豆	63.7		69.4		66.0	
飼料作物	4.0		4.0		4.0	
・子実用とうもろこし	0.0		0.0		0.0	
そば	241.8		263.5		240.0	
なたね	0.0		0.0		0.0	
地力増進作物	25.4		24.7		25.5	
高収益作物	22.5		24.8		30.5	
・野菜	13.1		13.8		19.9	
・花き・花木	9.4		11.0		10.6	
・果樹	0.0		0.0		0.0	
・その他の高収益作物	0.0		0.0		0.0	
その他	16.4		14.9		14.8	
・小豆	1.3		1.9		2.8	
・てん菜	15.1		13.0		12.0	
・その他作物	0.0		0.0		0.0	
畑地化	0.0		59.3		59.3	

## 6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	小麦	麦生産性向上助成	単収 作付面積	(R4年度) 423kg/10a (R4年度) 103.6ha	(R5年度) 360kg/10a (R5年度) 106.0ha
2	大豆 (黒大豆を含む)	大豆生産性向上助成	単収 作付面積	(R4年度) 212kg/10a (R4年度) 63.7ha	(R5年度) 210kg/10a (R5年度) 66.0ha
3	そば	そば生産性向上助成	単収 作付面積	(R4年度) 85kg/10a (R4年度) 241.8ha	(R5年度) 67kg/10a (R5年度) 240.0ha
4	てん菜	てん菜生産性向上助成	単収 作付面積	(R4年度) 6,577kg/10a (R4年度) 15.1ha	(R5年度) 6,000kg/10a (R5年度) 12.0ha
5	小豆	小豆生産性向上助成	単収 作付面積	(R4年度) 223kg/10a (R4年度) 1.3ha	(R5年度) 210kg/10a (R5年度) 2.8ha
6	加工用トマト、ブロッ コリー、花き、花木	地域振興作物助成	作付面積	(R4年度) 23.2ha	(R5年度) 26.0ha
7	メロン、ミニトマト	地域振興作物助成	作付面積	(R4年度) 0.9ha	(R5年度) 1.5ha
8	その他作物 ※別表で定める	地域振興作物助成	作付面積	(R4年度) 2.5ha	(R5年度) 3.0ha
9	そば	そば作付助成	作付面積	(R4年度) 241.8ha	(R5年度) 240.0ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:北海道

協議会名:沼田町農業再生協議会

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	麦生産性向上助成	1	16,000円以内(上限18,000円以内)	小麦	心土破碎、排水対策等
2	大豆生産性向上助成	1	16,000円以内(上限18,000円以内)	大豆(黒大豆を含む)	心土破碎、排水対策等
3	そば生産性向上助成	1	3,840円以内(上限5,000円以内)	そば	心土破碎、排水対策等
4	てん菜生産性向上助成	1	41,000円以内	てん菜	心土破碎、排水対策等
5	小豆生産性向上助成	1	39,000円以内	小豆	心土破碎、排水対策等
6	地域振興作物助成	1	52,000円以内	加工用トマト、ブロッコリー、花き、花木	作付面積に応じて支援
7	地域振興作物助成	1	47,000円以内	メロン、ミニトマト	作付面積に応じて支援
8	地域振興作物助成	1	30,000円以内	別紙のとおり	作付面積に応じて支援
9	そば作付助成	1	20,000円	そば	作付面積に応じて支援

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

**8 産地交付金の活用方法の明細**

## 1. 地域農業再生協議会名

沼田町農業再生協議会

## 2. 活用予定額の総括表

(単位:円)

協議会等名	配分枠 (A+B)		活用予定額
	当初配分 (A)	追加配分 (B)	
沼田町農業再生協議会	54,200,000	54,200,000	54,196,500

(注)追加配分が未定の段階にあつては、該当箇所を空欄により作成することとします。

3. 活用方法

配分枠

54,200,000円

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価① (円/10a)	面積 (a単位)※3														合計 ② ※5	所要額 ①×② (円)		
				戦略作物							新市場開拓用米	そば	なたね	地力増進作物	高収益作物					その他	
				麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米					野菜	花き・花木	果樹				その他の高収益作物
1	麦生産性向上助成	1	16,000	9,089															9,089	14,542,400	
2	大豆生産性向上助成	1	16,000		6,935														6,935	11,096,000	
3	そば生産性向上助成	1	3,840								26,350								26,350	10,118,400	
4	てん菜生産性向上助成	1	41,000														1,298	1,298	5,321,800		
5	小豆生産性向上助成	1	39,000														191	191	744,900		
6	地域振興作物助成	1	52,000										1,042	1,095				2,137	11,112,400		
7	地域振興作物助成	1	47,000										138					138	648,600		
8	地域振興作物助成	1	30,000										204					204	612,000		
9	そば作付助成	1	20,000															0	0		
合計(基幹)※4			実面積	9,089	6,935	0	0	0	0	0	26,350	0	0	1,384	1,095	0	0	1,489	46,342	※6	
合計(二毛作)※4			実面積																	54,196,500	

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。  
 ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。  
 なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 「面積」は、当初配分により支援を行う用途について記入し、追加配分により支援を行う用途については、追加配分額が未定の段階にあっては空欄としてください。

※4 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。  
 また、「合計②」欄は、基幹作、二毛作それぞれの実面積の合計を記入してください。

※5 ②の合計は、各用途の合計面積を記入してください。

※6 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。

(注)用途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。  
 (注)独自に列(非表示列を含む)を追加するなどの様式の変更は行わないでください。非表示行(セル)も作成しないか、提出時には削除願います。

#### 4. 追加配分等を受けた場合の調整方法

①追加配分(取組に応じた配分)

整理番号9の面積に応じて配分し、残額が生じた場合については、追加配分 $\times$ と合わせて、③のとおり整理番号1～3において一律に増額する。

②追加配分(地力作物作物助成)

地力作物作物助成において、配分があった場合、追加配分と合わせて、③のとおり整理番号1～3において一律増額する。

③追加配分 $\times$ ①、②で残額が出た場合は、(①、②の残額) $+$ 追加配分 $\times$

整理番号1～3において一律に増額する。

調整後単価 = 上限単価  $\times$  (配分額 - 整理番号4～9の所要額)  $\div$  整理番号1～3の上限単価時所要額

※上記の計算によってもなお残額が生じる場合は、整理番号1～3の全てが上限単価に達するまで調整を繰り返し行う。

※調整後単価は全て円単位とし、円未満の端数は切り捨てる。

#### 5. 所要額が配分 $\times$ を超過した場合の調整方法

① 整理番号9は、単価を固定とし配分する。

② ①の配分後、所要額が配分額を超過した場合は、全用途一律に単価を調整する。

調整後単価 = 調整前単価  $\times$  (配分額 - 整理番号9の所要額)  $\div$  整理番号1～8の所要額

※調整後単価は、全て円単位とし、円未満の端数は切り捨てる。

#### 6. 高収益作物について

対象作物なし

注1 産地交付金で支援する作物のうち、高収益作物に該当する作物名(野菜、花き・花木、果樹除く)を記載してください。

注2 収益性のわかるデータを添付してください。